



## 2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月6日

上場会社名 ケイヒン株式会社

上場取引所 東

コード番号 9312 URL <http://www.keihin.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉山 光延

問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長 (氏名) 荒井 正俊

TEL 03-3456-7825

四半期報告書提出予定日 2019年11月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	23,607	△4.9	909	55.9	962	42.5	667	73.0
2019年3月期第2四半期	24,834	11.6	583	△15.0	675	△2.8	385	△32.6

(注)包括利益 2020年3月期第2四半期 691百万円 (65.8%) 2019年3月期第2四半期 417百万円 (△55.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	102.20	—
2019年3月期第2四半期	59.06	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	39,916	17,590	44.1
2019年3月期	41,156	17,224	41.9

(参考)自己資本 2020年3月期第2四半期 17,590百万円 2019年3月期 17,224百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	—	—	50.00	50.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	50.00	50.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	48,000	△3.1	1,500	△9.4	1,500	△13.9	1,050	△13.4	160.82

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期2Q	6,536,445 株	2019年3月期	6,536,445 株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2020年3月期2Q	7,303 株	2019年3月期	7,219 株
------------	---------	----------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期2Q	6,529,193 株	2019年3月期2Q	6,529,243 株
------------	-------------	------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づき作成されたものであり、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。業績予想に関する事項につきましては、【添付資料】P. 3「1. (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年9月30日まで）のわが国経済は、全体的には緩やかな回復基調で推移したものの、生産や輸出に弱さがみられました。

このような環境の中、当社グループにおいては、倉庫保管・入出庫の取扱いは増加しましたが、陸上運送の取扱いは減少し、輸出入貨物、プロジェクト貨物、輸出車両の海上輸送、港湾作業の取扱いは減少しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は236億7百万円（前年同期比12億2千7百万円の減収、4.9%減）となりましたが、業務の効率化を図ったことに加えて、前年度下期から一部運送料金を見直したことにより、営業利益は9億9百万円（前年同期比3億2千6百万円の増益、55.9%増）、経常利益は9億6千2百万円（前年同期比2億8千6百万円の増益、42.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億6千7百万円（前年同期比2億8千1百万円の増益、73.0%増）となりました。

当社グループのセグメント別の業績は、次のとおりであります。

セグメント別売上高

セグメント	前第2四半期 連結累計期間 (百万円)	当第2四半期 連結累計期間 (百万円)	前年同期比増減（△印減）	
			金額(百万円)	比率(%)
国内物流事業	15,014	15,009	△5	△0.03
国際物流事業	10,310	9,071	△1,238	△12.0
セグメント間内部売上高	△490	△474	16	—
合計	24,834	23,607	△1,227	△4.9

国内物流事業

国内物流事業におきましては、倉庫業は、保管・入出庫の取扱いは増加し、売上高は33億3千8百万円（前年同期比4.4%増）、流通加工業は、料金を一部見直したこともあり、売上高は32億1千2百万円（前年同期比3.3%増）、陸上運送業は、一般貨物輸送の取扱いはおよび配送取扱件数が減少し、売上高は80億5千2百万円（前年同期比3.1%減）となりました。

以上の結果、国内物流事業の売上高は150億9百万円（前年同期比5百万円の減収、0.03%減）となりましたが、業務の効率化を図ったことに加えて、前年度下期から一部運送料金を見直したことにより、営業利益は13億9千万円（前年同期比5億7千4百万円の増益、70.4%増）となりました。

国際物流事業

国際物流事業におきましては、国際運送取扱業は、プロジェクト貨物、輸出車両の海上輸送の取扱いは減少し、売上高は75億6千3百万円（前年同期比11.6%減）、港湾作業は、船内荷役・沿岸荷役とも減少し、売上高は11億1千1百万円（前年同期比12.1%減）、航空運送取扱業は、輸出入貨物の取扱いは減少し、売上高は3億9千6百万円（前年同期比18.7%減）となりました。

以上の結果、国際物流事業の売上高は90億7千1百万円（前年同期比12億3千8百万円の減収、12.0%減）、営業利益は3億1千2百万円（前年同期比2億1千4百万円の減益、40.7%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金が減少したほか、減価償却に伴う有形固定資産の減少等により、前連結会計年度末比12億3千9百万円減の399億1千6百万円となりました。

負債合計は、借入金の減少等により、前連結会計年度末比16億4百万円減の223億2千6百万円となりました。

また、純資産合計は、利益剰余金およびその他の包括利益累計額の増加により、前連結会計年度末比3億6千5百万円増の175億9千万円となりました。

## ②連結キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における連結キャッシュ・フローは、営業活動によるキャッシュ・フローが16億円の収入、投資活動によるキャッシュ・フローが4億9千1百万円の支出、財務活動によるキャッシュ・フローが16億8千万円の支出となり、これらに現金及び現金同等物に係る換算差額(2千5百万円の減少)を加え、全体では5億9千5百万円の減少となり、現金及び現金同等物の四半期末残高は、20億2百万円となりました。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益9億5千9百万円、減価償却費による資金留保8億8千8百万円等により、16億円の収入となりました。

前年同四半期(14億7千1百万円の収入)との比較では、1億2千9百万円の収入の増加となりました。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の取得3億8千5百万円、定期預金の預入9千8百万円等により、4億9千1百万円の支出となりました。

前年同四半期(12億6千万円の支出)との比較では、7億6千9百万円の支出の減少となりました。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の返済等により、16億8千万円の支出となりました。

前年同四半期(17億3百万円の支出)との比較では、2千3百万円の支出の減少となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期累計期間の業績は、概ね期首予想(2019年5月10日発表の予想数値)に沿って進捗しているため、通期の業績予想につきましては、期首予想を据え置いております。

なお、景気動向や事業環境の変動等により、連結業績予想に修正の必要が生じた場合には適時に開示いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,173	2,676
受取手形及び営業未収金	5,379	5,083
電子記録債権	254	251
その他	990	926
貸倒引当金	△6	△4
流動資産合計	9,792	8,933
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	46,968	47,138
減価償却累計額	△32,327	△32,876
建物及び構築物(純額)	14,641	14,262
機械装置及び運搬具	3,313	3,375
減価償却累計額	△2,304	△2,388
機械装置及び運搬具(純額)	1,009	986
工具、器具及び備品	2,831	2,866
減価償却累計額	△2,433	△2,492
工具、器具及び備品(純額)	397	374
土地	6,809	6,809
リース資産	972	1,036
減価償却累計額	△438	△447
リース資産(純額)	534	589
建設仮勘定	8	47
有形固定資産合計	23,400	23,069
無形固定資産		
借地権	977	977
その他	550	522
無形固定資産合計	1,527	1,499
投資その他の資産		
投資有価証券	5,230	5,229
繰延税金資産	184	172
その他	1,008	1,010
貸倒引当金	△32	△35
投資その他の資産合計	6,390	6,377
固定資産合計	31,318	30,947
繰延資産		
社債発行費	45	36
繰延資産合計	45	36
資産合計	41,156	39,916

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
営業未払金	4,310	4,018
短期借入金	4,455	4,475
1年内償還予定の社債	1,000	1,000
リース債務	158	173
未払法人税等	365	287
その他	1,367	1,420
流動負債合計	11,657	11,375
固定負債		
社債	3,000	3,000
長期借入金	4,923	3,633
リース債務	425	470
繰延税金負債	133	113
役員退職慰労引当金	884	913
退職給付に係る負債	2,507	2,423
その他	399	397
固定負債合計	12,274	10,950
負債合計	23,931	22,326
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,376	5,376
資本剰余金	4,415	4,415
利益剰余金	6,777	7,118
自己株式	△13	△13
株主資本合計	16,555	16,896
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,059	1,091
為替換算調整勘定	△278	△308
退職給付に係る調整累計額	△111	△89
その他の包括利益累計額合計	669	693
純資産合計	17,224	17,590
負債純資産合計	41,156	39,916

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	24,834	23,607
売上原価	23,290	21,707
売上総利益	1,544	1,899
一般管理費	960	990
営業利益	583	909
営業外収益		
受取利息及び配当金	124	131
為替差益	38	—
その他	17	47
営業外収益合計	181	179
営業外費用		
支払利息	75	61
為替差損	—	33
その他	13	31
営業外費用合計	89	126
経常利益	675	962
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産処分損	1	2
特別損失合計	1	2
税金等調整前四半期純利益	673	959
法人税、住民税及び事業税	246	257
法人税等調整額	41	34
法人税等合計	288	292
四半期純利益	385	667
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	385	667



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
四半期純利益	385	667
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	105	32
繰延ヘッジ損益	2	—
為替換算調整勘定	△88	△29
退職給付に係る調整額	13	21
その他の包括利益合計	31	24
四半期包括利益	417	691
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	417	691
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	673	959
減価償却費	900	888
固定資産売却損益 (△は益)	△0	△0
固定資産処分損益 (△は益)	1	2
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1	1
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△24	△46
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	17	28
受取利息及び受取配当金	△124	△131
支払利息	75	61
売上債権の増減額 (△は増加)	181	300
仕入債務の増減額 (△は減少)	172	△291
その他	△207	79
小計	1,665	1,852
利息及び配当金の受取額	119	125
利息の支払額	△75	△60
法人税等の支払額	△241	△317
法人税等の還付額	3	0
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>1,471</b>	<b>1,600</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△529	△98
固定資産の取得による支出	△724	△385
固定資産の売却による収入	0	0
貸付けによる支出	—	△0
貸付金の回収による収入	0	—
投融資による支出	△11	△12
投融資の回収による収入	4	5
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△1,260</b>	<b>△491</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	624	△102
リース債務の返済による支出	△75	△84
割賦債務の返済による支出	△39	—
長期借入金の返済による支出	△1,378	△1,168
社債の発行による収入	489	—
社債の償還による支出	△1,000	—
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△325	△325
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△1,703</b>	<b>△1,680</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	△56	△25
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,549	△595
現金及び現金同等物の期首残高	3,272	2,598
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,723	2,002

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	国内物流事業	国際物流事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	14,588	10,245	24,834	—	24,834
セグメント間の内部売上高 又は振替高	426	64	490	△490	—
計	15,014	10,310	25,325	△490	24,834
セグメント利益	816	527	1,343	△760	583

(注) 1 セグメント利益の調整額△760百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用△760百万円であります。全社費用は、主として報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	国内物流事業	国際物流事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	14,591	9,015	23,607	—	23,607
セグメント間の内部売上高 又は振替高	417	56	474	△474	—
計	15,009	9,071	24,081	△474	23,607
セグメント利益	1,390	312	1,703	△794	909

(注) 1 セグメント利益の調整額△794百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用△794百万円であります。全社費用は、主として報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。